

令和元年度実施施策に係る政策評価書

別紙 2

(環境省R1-44)

施策名	目標9-4 環境情報の整備と提供・広報の充実					
施策の概要	環境保全施策を科学的、総合的に推進するため、環境問題に係る情報を体系的に整備し利用を図るとともに、様々なニーズに対応した情報を整備し、各主体への正確かつ適切な提供に努める。また、地球環境問題から身近な環境問題までの現状と取組について、各種媒体を通じた広報活動を行う。					
達成すべき目標	環境情報の体系的な整備、国民等への提供を行い、環境行政の各種施策を推進する基盤とする。					
施策の予算額・執行額等	区分	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	1,920	2,058	2,170	2,308
		補正予算(b)	-	-	-	-
		繰越し等(c)	-	-	-	-
		合計(a+b+c)	1,920	2,058	2,170	-
執行額(百万円)	1,844	1,879	2,070	-		
施策に関する内閣の重要政策（施政方針演説等のうち主なもの）	-					

測定指標	1 環境省ホームページへのアクセス数	基準値	実績値					目標値	達成
		-	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	○
		-	-	-	-	138,902,982	214,319,082	172,439,440	
	年度ごとの目標値	-	-	-	169,091,101	170,765,271	-	-	
	2 研修実施回数	基準値	実績値					目標値	達成
		-	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	○
-		49	52	54	55	54	51		
年度ごとの目標値		49	50	54	54	53	-		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) ・環境省ホームページへのアクセス数は目標値の125.5%であった。 ・研修実施回数については、目標値であった研修実施回数を達成した。
	施策の分析	環境統計・環境情報の総合的な整備については、第五次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定)及び公的統計の整備に関する基本的な計画(平成30年3月6日閣議決定)に基づき、環境統計・情報を容易に利用できる形で国民に提供するとともに、政策立案等により一層活用していくため、環境データの整備等を着実に実施している。研修については着実に実施し、年度目標を達成できている。
	次期目標等への反映の方向性	【施策】 ・環境情報の体系的な整備、国民等への提供は、環境行政の各種施策を推進する基盤であり、また国民の様々なニーズに対応するものであることから、環境情報の収集・整理や国民への分かりやすい情報提供、オープンデータ等の取組を一層強化する必要がある。 【測定指標】 ・環境省ホームページへのアクセス数については、目標年度までは当面現行の測定指標のままとすることが妥当である。また、研修についても着実に実施すべき施策であり、引き続き現行の測定指標のままとする。

学識経験を有する者の知見の活用	-
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	-
---------------------------	---

担当部局名	大臣官房環境計画課 大臣官房総務課 環境情報室 大臣官房総合政策課企画評価・政策プロモーション室 大臣官房総務課広報室	作成責任者名 (※記入は任意)	松田 尚之 杉井 威夫 岡崎 雄太 近藤 亮太	政策評価実施時期	令和2年9月
-------	---	--------------------	----------------------------------	----------	--------